

Playing Charter (ラグビー憲章) 考察 2

Principles of the Game を読み解く

憲章といえば国家の憲法にあたるものと思われるかも知れませんが、ラグビーの PLAYING CHARTER プレーするための海図即ち指針とするべきものです。Introduction に続いて Principles of the Game 競技の原点を解説しラグビーを楽しむ糧にしましょう。

競技の原点を Conduct, Spirit, Object, Contest and Continuity という4項目に分類して明確に宣言しています。

[Conduct]

初めに、2023年ラグビー発祥200周年に向けてグローバルに発展を続けるラグビーを称える心を、全てのラグーマンたちの意気と熱に寄せて述べています。

William Webb Ellis W杯はエリス杯と呼ばれています。

... has doggedly survived the countless revisionist theories since that day at Rugby School in 1823.

doggedly survived 頑固に生き延びてきたということは、それだけの信念と生き延びることができた環境があったということです。

in an act of spirited defiance 気強く無視する形で普及発展の一途をたどり、いろいろな意見や論説に元気よく挑戦するように appropriate 自分のものにしてきました。

ラグビースクールにあるラグビー発祥の記念碑を改めて読みましょう。



Wikipedia より引用

http://upload.wikimedia.org/wikipedia/commons/4/47/WWEplaque_700.jpg

RFU 創立100周年を迎えるにあたり、歴史研究のための委員会を設けて努力しましたが、結論的には確たる証拠無しということで、1870年に描かれた一枚の絵が発祥を物語るものとして取り上げられました。いつの時代にも各校の古い記録をもとに反論くりかえされてきました。

そして、100周年記念式でトゥイッケナムで一堂に会して「ラグビースクールの碑文の如く発祥した」とする結論に賛同し、W杯実施にあたって「エリス杯」と呼ぶことになりました。

ラグビー発祥は偶然の出来事ではなく、自然発生的です。歴史的に、社会的に自然な産物で社会のニーズに応じたものであることには間違いなく、ルネッサンス・産業革命・ヒューマニズム浸透・ヨーロッパ社会の変化興隆、改革発展の波の中でも英国の隆盛発展は特に目覚ましいもので、その中での出来事です。

そんな社会でラグビーという競技の発祥についての関心は常に大きく、いろいろなところでフットボールが盛んでボールを持つという事実行ももあり本家争いにも煮た論争はある程度当然なことであり、ラグビーの机上で他の競技を参考に作られたのではない偉大さを拡大する以外の何者でもありません。それは愛好家に流れる熱い血が原因であって歴史を傷つけるものでもなく、ラグビーを愛する誇りの一端とも言えることです。

ラグビーの本質に基盤に据え、プレーする心得について説いています。

... the guiding principles behind a game ...

競技を楽しむに際しては、競技の背後にある原理・原則の理解が大切です。それらの根源は発祥にみられる人間性豊かな楽しむ心です。

appears to be a mass of contradictions

一つ一つ別にとりあげますと矛盾の固まりのようにみえますがそうではありません。

It is perfectly acceptable 長年にわたる人間の知恵と工夫のたまもので、人間の性善なる情熱をもって完全にうけいれられてきたのです。

ラグビーは一見激しさが表面に出て、荒々しく危険な競技に見えますが、誰でも親しみが持てる楽しいものです。The name of the game is Enjoyment.の題目通りです。

身体と身体がぶつかる競技ですから、接触が負傷に結び付く可能性が全く無いとは言えません。それだけプレーヤー楽しむに当たって事故防止に努める姿勢が大切であるということです。fair play は相手をも尊重することでもあるのです。これは、性悪な熱血者に対する戒めも必要とする現状への反省でもあるのです。

These are the boundaries . . . 守らなくてはならない境界意界があることを明言しています。

it is the capacity to make this distinction

他のスポーツとの違いを形成する力であり要素です。

combined with control and discipline

自制と訓練を経て身についた規律の融合したものによって、望ましいラグビーを作られ望ましい人間像が形成されていくのです。

Principles of the Game は Introduction をうけてさらに自制と規律について述べています。Principles of the Game 中の 5 つの項目、Courage, Loyalty, Sportsmanship, Discipline, Teamwork を復習しましょう。

それらはラグビーの identity の根源、それらはラグビーから得られる素晴らしい収穫でもあるのです。

自制と訓練によって培われた規律を守る精神と実践が重要で、らは個人とチームとしても必須の責務なのです。

[Spirit]

Rugby is played both to the letter and within the spirit of the Laws.

「ラグビーは競技規則の文字と精神との両方でプレーされる」と宣言しています。ルールを守るとはその精神をもふくめてのことであって、精神を無視し、裏をかくようなことはしてはならないのです。

「競技規則に書かれているラグビー精神」は文字面の意味をたどっているだけでは正確に理解しているとは言えません。一つ一つの条項成立の根拠と経過を知り、規則の意図するところを把握して実行することが大切です。そうする義務・責任が、コーチ、キャプテン、プレーヤー、レフリーにそれぞれあるのです。

discipline, control and mutual respect that the spirit of the game flourishes

flourishes 競技の精神が鮮やかに表している規律、自制そしてお互いの尊敬はラグビーの基本精神であり、それらの体得実践を促すとともに、素晴らしいゲームは、訓練と自制と相互の尊敬を通して達成されることを重ねて述べられています。そしてフェアプレーとは、激しく正々堂々と戦うことだけではないことを認識しなければなりません。

The principles of Rugby are the fundamental elements upon which the game is based and they enable participants to immediately identify the game's character and what makes it distinctive as a sport.

ラグビーの伝統と美德は時が経ち、あらゆるレベルでプレーされるようになっていますが、他の競技に見られない輝かしい良さを誇りに思い、それを残し将来につたえていかなければならないという自覚も現代人にとって大切なことです。

[Object]

ラグビーは簡単な競技であるという真実を基盤に、そのことを基調に据えて述べられている記述を簡単に軽薄に受け止めてはいけません。

in a sporting spirit sportsmanship と言わないで sporting spirit でボールを取り合いという中身も考えるべきでしょう。

carrying, passing, kicking, grounding the ball, 複雑に考えるよりも、単純純粹に活動し得点を取り合うことです。

ラグビーは現在まさにグローバル競技です。

by men and women and by boys girls worldwide 世界中の男女

more than 3 million people 300 万人以上

6~60 6 歳から 60 歳

そのために要求される技術や体力はそれぞれの機会によって異なるのは当然です。
A sport of all ラグビーは全ての人にとって素晴らしく楽しいスポーツです。
複雑に考えたり、難しく考えたりしないで、形式張って構えないことを忠告しています。
男女や年齢で広いレベルで行われているわけですから、当然体格身長能力にあった方法でやればよいのです。

[Contest and Continuity]

The contest for possession of the ball is one of key features.

ボール獲得競争は競技の鍵となる形の一つです。

ボールを取り合いは、多くの異なった形でおこりますが、ボールの取り合いに始まって、接触時、一般プレー、スクラムラインアウトキックオフ等でプレーの継続競争をするわけです。

The contests are balanced in such a way as to reward superior skill displayed in the preceding action.

ゲームは続く展開即ちゲームの進行に効果を発揮する技術がすぐれている側が有利であるというように進展する。balance が取られるという表現は単なる勝ち負けでなく、双方の立場にたった味のある言葉です。

these areas of play can be fairly contested

セットプレーではとくに fair play が大切に要求されるのです。

ボールを所有するには即ち勝つ方法を教えています。

前進して点をとるために、

It is the aim of the team in possession maintain continuity

. . . to advance and score points.

その方法としては、

by denying opposition the ball 相手にボールを取られないように by skilful means いろいろな技術を駆使して失敗するとボールを所有する時間がみじかくなり、相手の防御を容易にします。

Contest and Continuity, profit and loss.

ボールを勝ち取り継続する。利益か損と津か。 短い言葉に尽くされています。

ラグビーは running handling game です。

ボールを獲得し継続し続けた法が勝ちということです。

難しく考えないでボールを持って走り回れば良いと単純明快に割り切って伸び伸びプレーすることを勧めています。

以上のために、チームとしては協力して次のようにバランスをとりなさいというのです。balance 釣合、調和、片寄りなく均衡を保つという表現に深い内容があります。moderate と reasonable の心情を思い出してください。

balance between continuity of play and continuity of possession

プレーの継続とボール所有の継続については次のように整理できます。

一つのプレー+プレー継続するためのプレーの連続に終始することなく、ボール所有維持のためのプレー・行為を噛み合わせることを強調しています。

一人の一つのプレーのバランスに始まってチームとしては人数のバランスという視点から連続プレーの中で的人数配分も興味ある策戦の一つであるということ、そのことは15人のラグビーの重要な過程でもあるのです。全員の運動量を増やしダイナミックなラグビーに至るものです。

balance of contestability and continuity applies to both set piece and general play

balance はセットプレーと一般プレーの両方に言えることです。

2007. 09. 17

西川 義行